令和6年12月愛荘町議会定例会会議録

令和6年12月20日（金）午前9時00分開議

議事日程（第4号）

日程第 1 議案第66号 愛荘町避難行動要支援者名簿情報の提供に関する条例

日程第 2 議案第67号 愛荘町職員定数条例の一部を改正する条例

本日の会議に付した事件

日程第1から日程第2

~~~~~

追加日程第 1 議案第77号 愛荘町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

追加日程第 2 議案第78号 愛荘町特別職の職員で常勤のもの給与および旅費に関する条例の一部を改正する条例

追加日程第 3 議案第79号 愛荘町会計年度任用職員の給与および費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

追加日程第 4 議案第80号 湖東三山館あいしょうの指定管理者の指定につき議決を求めることについて

追加日程第 5 議案第81号 中山道愛知川宿街道交流館の指定管理者の指定につき議決を求めることについて

追加日程第 6 議案第82号 契約の締結につき議決を求めることについて

追加日程第 7 議案第83号 契約の締結につき議決を求めることについて

追加日程第 8 議案第84号 契約の締結につき議決を求めることについて

追加日程第 9 議案第85号 契約の締結につき議決を求めることについて

追加日程第10 議案第86号 令和6年度愛荘町一般会計補正予算（第8号）

追加日程第11 議案第87号 令和6年度愛荘町国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）

追加日程第12 議案第88号 令和6年度愛荘町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第4号）

追加日程第13 議案第89号 令和6年度愛荘町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）

追加日程第14 議案第90号 令和6年度愛荘町下水道事業会計補正予算（第2号）

~~~~~

- 追加日程第1 意見書第1号 企業・団体献金の全面禁止を求める意見書
- 追加日程第2 議提第16号 議会の委任による専決処分事項の指定についての一部改正
- 追加日程第3 議提第17号 愛荘町議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例
- 追加日程第4 議提第18号 総務産業建設常任委員会閉会中の継続調査について
- 追加日程第5 議提第19号 教育民生常任委員会閉会中の継続調査について
- 追加日程第6 議提第20号 広報常任委員会閉会中の継続調査について
- 追加日程第7 議提第21号 議員派遣について

出席議員（14名）

1番 久保田 正利君	2番 小菅 久宣君
3番 中川 喜代和君	4番 澤田 源宏君
5番 村西 作雄君	6番 村田 定君
7番 上田 太治君	8番 高橋 正夫君
9番 外川 善正君	10番 河村 善一君
11番 瀧 すみ江君	12番 竹中 秀夫君
13番 辰 己 保君	14番 森野 隆君

欠席議員（なし）

地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名

町 長 有村国知君	副 町 長 杉本甚治郎君
教 育 長 徳田 寿君	教 育 次 長 陌間秀介君
企画政策監兼みらい創生課長事務取扱 兼給付金・定額減税一体支援事業推進室長事務取扱	総務政策監 生駒秀嘉君
西川傳和君	兼会計管理者
福祉政策監兼健康推進課長事務取扱 兼子育て世帯包括支援センター所長事務取扱	産 業 政 策 監 北川三津夫君
木村美紀君	兼商工観光課長事務取扱
経 営 戦 略 課 長 田中孝幸君	福 祉 課 長 小林充周君
子 ども 支 援 課 長 増居志穂君	住 民 課 長 楠 真二君
税 務 課 長 藤澤雅史君	農 林 振 興 課 長 阪本 崇君

建設・下水道課長 羽田 順行 君

生涯学習課長 水谷 徹也 君
兼国スポ・障スポ開催推進室長

事務局職員出席者

議会事務局長 森 まゆみ 書記 伊谷 一真

開議 午前9時00分

◎開議の宣告

○議長（森野 隆君） 皆さん、おはようございます。着座にて失礼いたします。

本日、久保川室長より欠席届が提出されております。

ただいまの出席議員は14名で定足数に達しておりますので、これより本日の会議を開きます。

◎議事日程の報告

○議長（森野 隆君） 本日の議事日程は、お手元に配付のとおりです。

◎議案第66号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（森野 隆君） 日程第1、議案第66号 愛荘町避難行動要支援者名簿情報の提供に関する条例は、教育民生常任委員会に付託し、審査が行われた報告書が提出されています。

教育民生常任委員会の審査報告を求めます。教育民生常任委員会、竹中委員長。

〔教育民生常任委員長 竹中秀夫君登壇〕

○教育民生常任委員長（竹中秀夫君） 皆さん、おはようございます。教育民生常任委員会委員長報告を行います。

令和6年12月20日愛荘町議会議長、森野 隆様。愛荘町教育民生常任委員会委員長、竹中秀夫。

本委員会に付託された議案は、審査の結果、次のとおり決定したので、愛荘町議会会議規則第77条の規定により報告をいたします。

1、審査結果。議案第66号 愛荘町避難行動要支援者名簿情報の提供に関する条例を原案可決。

2、審査経過。12月13日に教育民生常任委員7名が慎重に審査をいたしました。質疑の主なものは、名簿に記載される内容について。名簿の提供先について。個人情報に記載されている名簿の自治会等での管理方法について。自主防災組織や民生委員会の役割についてなど審査が行われました。討論はありませんでした。採決の結果、全員賛成で議案第66号 愛荘町避難行動要支援者名簿情報の提供に関する条例は、原案どおり可決しました。

以上で委員長報告を終わります。

○議長（森野 隆君） これより議案第66号の委員長報告に対する質疑を行います。
質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。初めに、反対討論はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 次に、賛成討論はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 討論なしと認めます。

これより議案第66号を採決します。本案に対する委員長の報告は可決です。委員長の報告のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（森野 隆君） 全員起立であります。よって、議案第66号 愛荘町避難行動要支援者名簿情報の提供に関する条例は、原案のとおり可決されました。

◎議案第67号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（森野 隆君） 日程第2、議案第67号 愛荘町職員定数条例の一部を改正する条例は、総務産業建設常任委員会に付託し、審査が行われた報告書が提出されています。

総務産業建設常任委員会の審査報告を求めます。総務産業建設常任委員会、村西委員長。

〔総務産業建設常任委員長 村西作雄君登壇〕

○総務産業建設常任委員長（村西作雄君） 総務産業建設常任委員会委員長報告を行います。

令和6年12月20日愛荘町議会議長、森野 隆様。愛荘町総務産業建設常任委員会委員長、村西作雄。

本委員会に付託された議案は、審査の結果、次のとおり決定したので、愛荘町議会会議規則第77条の規定により報告します。

1、審査結果。議案第67号 愛荘町職員定数条例の一部を改正する条例を原案可

決。

2、審査経過。12月12日に総務産業建設常任委員7名が慎重に審査いたしました。質疑の主なものは、定年延長を踏まえた職員採用計画について。AIを活用できる仕事について。地域手当等を踏まえた人件費全体の財政運営についてなど審査が行われました。討論はありませんでした。採決の結果、全員賛成で議案第67号 愛荘町職員定数条例の一部を改正する条例は、原案のとおり可決しました。

以上で委員長報告を終わります。

○議長（森野 隆君） これより委員長報告に対する質疑を行います。質疑はありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（森野 隆君） 質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。初めに、反対討論はありませんか。9番、外川善正君。

○9番（外川善正君） 外川善正。

議案第67号 愛荘町職員定数条例の一部を改正する条例に反対し、討論を行います。

職員定数条例は、「議会、町長、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会、農業委員会及び教育委員会の事務部局ならびに教育委員会の所管に属する教育機関に常時勤務する一般職の職員の定数を定めるものとする」とある。この職員定数を算出するには、現行の行政組織の業務を的確に遂行するための職員の数が必要であり、積み上げ方法とヒアリングをもって職員数を算出し定数とし、執行体制の確立を図り、業務の遂行を行うものとする。

今回の職員定数の考え方については、さきの一般質問においても述べておられるが、明確な適正定員を算定することは非常に難しい部分があり、積み上げて算定する方法もあるが、多大な時間と労力、コストがかかることから、愛荘町では採用していない。また、類似団体との比較による方法もあるが、異なる地域事情を詳細に反映することは困難であると答弁されておられる。では、愛荘町における算出方法はと尋ねると、複数の幹部職員と担当課長の間でヒアリングを行い、職員の数を決め、町長に承認を頂いているとのことであるが、本当にこのような形で決めて、的確な数を算出できるのであるかと考える。

まず、人の考えでの協議とヒアリングで数を決めるには、基準となる物差しが曖昧

である。また、感情により左右される場合もあり、人が替われば物差しの長さも変わってくるであろう。そのため、基準となるデータが必要ならば、例えばそれぞれの担当課の分掌事務をベースに作業日報を作成し、職員がそれぞれ終業直前に1日の従事した時間数等を記述することにより、短時間で基礎データを作成することも可能である。また、別の方法もあり得ます。

次に、定年退職についても要因の1つに挙げておられ、定年退職が65歳になる令和14年まで毎年度新規採用を行った場合、職員数が19名増加すると説明されておられるが、単年度から見た場合、次年度に退職される方は、前年度では職員定数に含まれておられるので、その方が退職される次年度では、新規採用を退職予定者の補充として確保することから、将来の退職予定者を職員定数の算出要因には入らないと考えられる。

次に、国スポ・障スポなど一定期間の業務等が発生するものについては、その期間が過ぎてしまえば全く業務そのものが消滅すること。また、若干名であっても、性質上一過性の業務については職員定数に含むべきものではなく、必要とするならば臨時雇用として採用することが私は望ましいと考える。

最後に、施行日の件について。今回の定数の見直しについては、公布の日からとあるが、公布の日は令和6年12月定例会が終了した日、つまり令和6年12月21日となる。通年は4月1日がおおむね施行日となり、3月定例会等で議案の上程、予算計上を行い、運用していくのであるが、今回12月定例会で上程され、採決となった場合、財源の確保等新たな課題など起こってくることもあり、今回の上程については、全体としての説明も十分でなく、職員定数の見直しについて、要因とするものも、また、別の要因として検討すべき事項についてもすみ分けすることなく、大枠の中で実施しようとしておられることから、反対討論を行いました。

議員各位におかれましても、今回上程されました愛荘町職員定数条例の一部を改正する条例は、あまりにも算定方法や考え方が逸脱しており、再度考えていただき、判断されることをお願いし、討論を終わります。

○議長（森野 隆君） 次に、賛成討論はありますか。8番、高橋正夫君。

○8番（高橋正夫君） 議案第67号 愛荘町職員定数条例の一部を改正する条例について、賛成の立場から討論を行います。

愛荘町職員定数条例の一部を改正する条例につきましては、国の物価高騰対策とし

での緊急経済対策や国スポ・障スポの開催準備など、年々増加する業務量に対して職員不足が続いている。こうしたことから、職員定数の見直しを行うものです。行政需要は多様化、複雑化し、職員1人が担う仕事が増えています。そうした中、適切な職員配置を行い、効果的かつ効率的な業務執行を行う体制を確保する必要があり、職員定数を増やすものであります。引き続き、住民の皆さんが安心して暮らせるまちづくりに尽力いただき、こうしたことをお願いし、本議案に賛成いたします。

議員各位におかれましても、御賛同をお願いいたしまして、賛成討論を終わります。

○議長（森野 隆君） ほかに討論はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） これで討論を終わります。

これより議案第67号を採決します。本案に対する委員長の報告は可決です。委員長の報告のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（森野 隆君） 起立多数です。よって、議案第67号 愛荘町職員定数条例の一部を改正する条例は、原案のとおり可決されました。

○議長（森野 隆君） お諮りします。ただいま議案14件が提出されました。これを日程に追加し、直ちに議題としたいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 異議なしと認めます。よって、議案14件を日程に追加し、直ちに議題とすることに決定しました。

◎議案第77号～議案第79号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（森野 隆君） 追加日程第1、議案第77号 愛荘町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例から追加日程第3、議案第79号 愛荘町会計年度任用職員の給与および費用弁償に関する条例の一部を改正する条例までを一括議題にします。質疑、討論は一括で行います。採決はそれぞれの議案ごとに実施します。

本案について提案理由の説明を求めます。総務政策監。

○総務政策監兼会計管理者（生駒秀嘉君） それでは、議案書の1ページをお願いいたします。

議案第77号 愛荘町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例。

上記の議案を提出するものでございます。説明につきましては、議案説明資料の1ページをお願いいたします。

それではまず、愛荘町職員の給与に関する条例の一部を改正する理由でございますけれども、人事院勧告に基づき、公務員の給与改定に関する取扱いについて閣議決定されたことから、一般職の職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律に準じて関係する条例の一部を改正するものでございます。

要旨でございます。

第1条、年間で期末勤勉手当を0.1月分引き上げ、4.5月分を4.6月分にするものでございます。

第22条第2項期末手当の改正、令和6年12月期支給分の期末手当改正ということで、現行1.225月分を1.275月分へ。

第23条第2項勤勉手当の改正でございますけれども、令和6年12月期支給分の勤勉手当改正、現行1.025月分を1.075月分へするものでございます。

別表第1、俸給表の改正。民間給与との格差1万1,183円を解消するため、若年層に特に重点を置きつつ、おおむね30歳代後半までの職員に重点を置いて、全ての職員を対象に俸給表を引き上げ、改定をするものでございます。

第2条、第22条第2項期末手当の改正、令和7年以降の6月期及び12月期支給分の期末手当改正、これは1.25月分で改正するもの。

第23条第2項の勤勉手当の改正。令和7年以降の6月及び12月期支給分の勤勉手当改正、これを1.05月分へ改正するものでございます。

施行期日でございますけれども、第1条、施行日、公布の日から。適用日、別表第1、俸給表の改正については令和6年4月1日から、条例第22条第2項及び第23条第2項の改正については令和6年12月1日から、第2条、施行日、令和7年4月1日からとなっております。

2ページから13ページにつきましては、新旧対照表となっておりますので、よろしくをお願いいたします。

それでは、続きまして、議案書の6ページをお願いいたします。

議案第78号 愛荘町特別職の職員で常勤のものの給与および旅費に関する条例の一部を改正する条例。

上記の議案を提出するものでございます。説明につきましては、議案説明資料の14ページをお願いいたします。

愛荘町特別職の職員で常勤のものの給与および旅費に関する条例の一部を改正する理由でございますけれども、人事院勧告に基づき、公務員の給与改定に関する取扱いについて閣議決定されたことから、特別職の職員の給与に関する法律の一部を改正する法律に準じて、改正する条例の一部を改正するものでございます。

要旨でございます。

第1条、第2条第2項、年間で期末手当を0.05月分引き上げ、3.4月分を3.45月分にするものでございます。令和6年12月期支給分の期末手当の改正ということで、現行1.7月分を1.75月分にするものでございます。

第2条、第2条第2項、7年度以降の6月期及び12月期分の期末手当改正ということで、1.725月へ見直すものでございます。

施行期日でございますけれども、第1条、施行日、公布の日から。令和6年12月1日適用。

第2条、施行日、令和7年4月1日からとなっております。

15ページが新旧対照表となっております。よろしくをお願いいたします。

続きまして、議案書の7ページをお願いいたします。

議案第79号 愛荘町会計年度任用職員の給与および費用弁償に関する条例の一部を改正する条例。

上記の議案を提出するものでございます。説明につきましては、説明資料の16ページをお願いいたします。

愛荘町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する理由でございますけれども、人事院勧告に基づきまして、公務員の給与改定に関する取扱いについて閣議決定されたことから、愛荘町職員の給与に関する条例改正に伴い、会計年度任用職員についても同様の改正を行うものでございます。

要旨でございます。

給与表の改定を行うもので、期末勤勉手当については正規職員に準じるようになってございますので、議案第77号での改正となっております。

施行日でございます。施行日、公布の日から。適用日、令和6年4月1日からとなっております。

17ページから26ページについては、新旧対照表となっております。

以上、説明とさせていただきます。御審議よろしくお願いをいたします。

○議長（森野 隆君） これより議案第77号から議案第79号の質疑に入ります。
質疑はありませんか。

〔なし〕の声あり〕

○議長（森野 隆君） 質疑なしと認めます。

これより議案第77号から議案第79号の討論に入ります。初めに、反対討論はありませんか。

〔なし〕の声あり〕

○議長（森野 隆君） 次に、賛成討論はありませんか。

〔なし〕の声あり〕

○議長（森野 隆君） 討論なしと認めます。

それでは、初めに議案第77号を採決します。本案は原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（森野 隆君） 全員起立であります。よって、議案第77号 愛荘町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例は、原案のとおり可決されました。

次に、議案第78号を採決します。本案は原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（森野 隆君） 全員起立であります。よって、議案第78号 愛荘町特別職の職員で常勤のものの給与および旅費に関する条例の一部を改正する条例は、原案のとおり可決されました。

次に、議案第79号を採決します。本案は原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（森野 隆君） 起立全員であります。よって、議案第79号 愛荘町会計年度任用職員の給与および費用弁償に関する条例の一部を改正する条例は、原案のとおり可決されました。

◎議案第80号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（森野 隆君） 追加日程第4、議案第80号 湖東三山館あいしょうの指定管理者の指定につき議決を求めることについてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。産業政策監。

○産業政策監兼商工観光課長事務取扱（北川三津夫君） それでは、議案第80号 湖東三山館あいしょうの指定管理者の指定につき議決を求めることについて。

上記の議案を提出させていただきます。

湖東三山館あいしょうの指定管理者を次のとおり指定することにつき、地方自治法第244条の2、第6項の規定により議決を求めるものでございます。

1、公の施設の名称、所在地及び施設。名称、湖東三山館あいしょう、所在地、愛荘町松尾寺1395番地1。名称、駐車場、愛荘町松尾寺1395番地7。名称、従業員駐車場、所在地、愛荘町松尾寺1395番地3。

2、指定管理者となる団体の所在地、名称及び代表者の氏名。1、所在地、滋賀県愛知郡愛荘町安孫子825番地。2、名称、一般社団法人愛荘町観光協会。3、代表者、代表理事、山田康義。

3、指定の期間、令和7年4月1日から令和10年3月31日までの3か年でございます。

御審議いただきますようよろしくお願いをいたします。

○議長（森野 隆君） これより質疑に入ります。質疑はありますか。6番、村田定君。

○6番（村田 定君） 6番、村田です。

昨年、指定者管理が否決されまして、今、任用職員が1人いるだけというような状態で、非常に湖東三山の状況というのは、本当に町内外に多くのマイナスイメージを与えております。今日まで多くの人から、また各近隣の市町の議員さんからも、一体どうするんやというふうなことも何度も聞かれますが、1年間は、否決されたので一度閉館して観光部門だけをやるということで今日まで来ました。私もこの12月20日、今日、大きく前進するということで、指定者管理の決定がされるということで、皆様に報告しなければいけないということで、本当に大きな期待を持って今日おるんですけども、今、政策監から指定者管理についての議決を求めることについてという提案をされましたが、これはあまりにも、内容というか、もう少し中身を話していた

だかないと、我々としても分からないというところもございます。

まず1点は、昨年、観光協会が手を下ろされました。それがまた今回、観光協会に指定者管理されるということは、もちろん観光協会も会長も替わっていますので、それなりの方針はあると思うんですが、そこで私がお聞きしたいのは、まず公募が2者あって、その中で、委員会が審査をされ、審査基準も1から4まであって、これはもう既に審査基準は、点数もホームページに出ております。しかし、ホームページを見ても、基準1、2においては観光協会が負けていますし、トータル的には、本当の僅かな差で観光協会に決定したということなんですけれども、もちろん観光協会だけでこの指定者管理はできないものと思っています。そこで、強力なパートナー企業がなければ私はできないし、こういったプレゼンもできないであろうと思うんですけれども、やはりそのパートナー企業を含め、今三山館に対するプレゼンされた、もう少し詳しい内容をお話を頂きたいと思うんです。

また、選定理由ということで、最後に書かれていますが、候補者の過去の経験から、物販と飲食の運営見直しに取り組まれようとしている点を評価すると。候補者ならではのつながりを生かした地域資源の発信のほか、広域観光などの取組により愛荘町への誘客がさらに活発になり、本施設を玄関口として町全域の観光振興に寄与することを期待するという選定理由になっております。そういったことを含めて、もう少し、どういったものを具体的に考えておられるのか、されるのかについてお尋ねをいたします。

○議長（森野 隆君） 産業政策監。

○産業政策監兼商工観光課長事務取扱（北川三津夫君） まずもって、昨年議案を上げさせていただきまして、可決に至りませず、この1年間、町の直営でというようなところ、皆様方の御協力を頂きながら進めてまいったわけでございますが、住民の皆様をはじめ様々な方々に御迷惑をおかけしたことをこの場をお借りしておわびを申し上げます。

また、今ほど御質問にありましたところでございます。1年間、観光部門だけというようなところでございますが、観光部門を中心というようにございまして、この11月、12月の紅葉の時期につきましては、町ということだけではなく、一部の方からもお声も頂きまして、三山館におきましてはマルシェを行ったりというようなところで、来場いただく方が喜んでいただくような企画もさせていただいたところ

でございます。その折には、村田議員にも非常にお力添えを頂きまして、ありがとうございました。観光だけということではなくて、そういったところも、地域の皆様方が何とかしなければいけないというようなところがございます、そういったイベントもさせていただいたようなところがございます。

一度、観光協会様が手を下ろされたというようなところがございますが、やはり観光協会様も、この地域を何とかしなければいけないというようなことで、また手を挙げていただきまして、今回こういうことになったようなところがございます。

もう少し中身をというようなところがございます。大変恐縮でございますが、まだ議決が頂けてない状況でございます、なかなか隅々詳細までというようなところはいきませんが、一部紹介をさせていただきますと、今ほどおっしゃっていただきましたように、やはり観光協会だけでは進めていけないというようなところも、観光協会自身で御理解を頂いているところで、今、村田議員おっしゃったように、やはり強力なパートナーがいなければいけないというようなところがございます、飲食部門について、そういった強力なパートナー企業とともにこうしていきたいというような提案も頂いたところでございます。その企業につきましては、非常に腕を持つような確かな企業というようなところでプレゼンもされたような状況でございます。

成功の鍵というのは飲食なり物販というようなところ、そういったところを強化をさせていただいて、そこに来てよかったというように思っただく。また行きたいというように思っただくというようなところの部分をやはり考えていかなければいけないというようなところを御提案もあつたところでございますし、物販につきましては、今まで培ってきておられたデータなりを生かしながら、やはり売れ筋なんかを強化して入れていく。飲食は今申しあげました協力的なパートナー企業と一緒にやっていくというようなところを御提案も頂いたようなところがございます。

あと、皆様方が特に喜んでいただいております定期的なイベント、朝市なりというようなところもやっていきたいというようなところ、またキッチンカーなりの販売もして、地場品も販売をしていくというようなところで、そういった準備をしながら、やはりそれを情報発信していくというようなところが大切というようなところで、広域的にも情報発信をしていくというような御提案も頂いておりますので、よろしくお願いをいたしたいと思っております。

以上でございます。

○議長（森野 隆君） 6番、村田 定君。

○6番（村田 定君） そういったことで、観光協会とパートナー企業との連携によって立派にこの三山館をやっていただけるということなんですが、三山館は非常に、よそから見られても羨ましいというほど地の利がいいと思うんです。やはりインターの出入口でもあるし、307号線も接していますので、ここらの道に行ってもあいしょう館ほど恵まれているところはないですよということで、しっかりとコラボしたい、連携していきたいということも聞いていますし、そういった意味で、本当にこの1年間は何だったのかなということは、本当に反省をし、生かしていかなければならない。せっかく10年間積み上げてきたものを、もう崩したわけです。これをもう一遍戻すというのは大変な努力が要ると思いますので、しっかりとさせていただきたいと思いません。

それで、まず今の議案書の議案第80号に、やはり金額が出てないのが1点。これは補正予算書に載っていますということなんですが、補正予算はこの後に審議されるので、まずここに金額が載っていないというのは私は疑問に思います。

それともう1点、指定期間が7年4月1日から10年の3月31日で3年間、一般的に指定者管理というのは5年を基準にされていると思うんです。だから、やはり新規にされるわけですから、やはり5年のスパン、5年の期間が私は必要じゃないかなと思います。また、当然1年間閉めたわけですから、これを開店、オープンしようとすると、いろいろな新しい設備が必要となってまいります。

特に、インボイスになってから、旧のレジでするのでインボイスレジに変えていかないといけない、コンピューターシステムから全部変えていかなきゃいけない。そういった等々の費用、こういったものがこの予算の中で見られているのかどうなのかということとを1点、その点をお聞きしたいと思います。

○議長（森野 隆君） 産業政策監。

○産業政策監兼商工観光課長事務取扱（北川三津夫君） 3点御質問を頂いたと思います。

まず、指定管理の指定管理料でございます。この後の補正予算の審議でお願いをさせていただくわけでございますが、補正予算書の5ページのところに、債務負担行為というようなところで、2施設の指定管理料について、債務負担を取らせていただく予定でございます。湖東三山館あいしょうにつきましましては、3年間で4,203万7,

000円というようなところで、この後お願いをさせていただく予定でございます。

2点目の指定管理の期間でございます。5年というようなところが多いのかなというようなお話であったかと思いますが、確かに5年というようなところの指定管理の期間が多いというようなところは承知しておるところでございます。過去の2施設につきましても5年というようなところの期間をさせていただきました。今回、条件付公募というようなところで募集範囲を限定させていただきました。特別な公募というようなところございまして、何者あるかというようなところも不安というようなところもございまして、いろいろなことを判断をさせていただきまして、5年より3年でいこうというような判断をさせていただいたところでございます。

それと、指定管理をスタートするに当たっての部分でございます。このスタートアップの経費につきましても、一定、盛り込みはさせていただいておりまして、今のこの指定管理の指定管理料の中で行っていただくというようなところでございます。

以上です。

○議長（森野 隆君） 6番、村田 定君。

○6番（村田 定君） いろいろなこと、知恵を結集していただいて、この湖東三山に対する期待というのは、町民だけじゃなくて町内外、近隣の市町、大変な大きな注目をされていますので、しっかりとその期待に応えるような、また10年間やってきた実績と、この1年間閉めたけれども、また再スタート切ったらすばらしい今までない形のものをつくり上げていっていかなければ、私はならないと思います。

そういった意味で、パートナー企業も明確にどこだということは示されませんが、否決されたら、もうそのパートナー企業に対してどうのこうのということも考えてはるところもあると思うんですけど、私はこの指定者管理については、もう町民全員が、行政と議会が一体となつてつくっていかなければならないものと考えておりますので、ひとつ積極的な説明、こうやるんだ、こうするんだというような前向きな形のものをつくっていただきたいなということで、お願いしたいと思います。

以上です。

○議長（森野 隆君） ほか、質問ございませんか。4番、澤田源宏君。

○4番（澤田源宏君） 1つだけ尋ねておきますけど、厨房器具とか所有権はどない、ちゃんとなつとるんか。

もし誰が、観光協会がやるにしても、厨房器具を処分するにしても、所有権がしつ

かりしてないと、後からもめたりすると思うんです。その辺ちゃんと、前の企業から使ってくれて構へんとかという口約束だけやったら不安やと思うんです。その辺、どうなっていますか。

○議長（森野 隆君） 産業政策監。

○産業政策監兼商工観光課長事務取扱（北川三津夫君） 今残っているものは次期の方が使っていただいてもというようなところで、その機器が使えないというようなところについては、また新たな指定管理者で更新を頂くというようなことになるかと思えます。

○議長（森野 隆君） ほか。11番、瀧 すみ江君。

○11番（瀧 すみ江君） 11番、瀧 すみ江です。

こういう地元、地域限定に限った指定管理者公募ということは、本当にいろいろな経過を経て、議会のほうでも協議をして、そして、それにたどり着いたことであると思えますので、よい方法ではなかったかと思えます。

今、質疑に対する答弁の中で、説明されていた中で、強力なパートナー企業ということをおっしゃって、それは飲食のほうでというふうなこともおっしゃって、このパートナー企業は、例えば町内なのか、でなければ県内なのか、それとも県外なのかということをお聞きできれば答弁お願いいたします。

○議長（森野 隆君） 産業政策監。

○産業政策監兼商工観光課長事務取扱（北川三津夫君） 協力的なパートナー企業というようなことでございますが、知る範囲でお答えをさせていただきますと、県内でゴルフ場を運営されていらっしゃるということも聞いておりますし、飲食のほうにつきましても、腕の確かな方がいらっしゃるというようなところで、県内においても事業をされている事業者様でございます。

○議長（森野 隆君） ほか、質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） これで質疑を終わります。

これより討論に入ります。初めに、反対討論はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 次に、賛成討論はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 討論なしと認めます。

これより議案第80号を採決します。本案は原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（森野 隆君） 全員起立であります。よって、議案第80号 湖東三山館あいしょうの指定管理者の指定につき議決を求めることについては、原案のとおり可決されました。

◎議案第81号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（森野 隆君） 追加日程第5、議案第81号 中山道愛知川宿街道交流館の指定管理者の指定につき議決を求めることについてを議題にします。

本案について提案理由の説明を求めます。産業政策監。

○産業政策監兼商工観光課長事務取扱（北川三津夫君） それでは、議案81号を御説明申し上げます。議案書12ページをお願いいたします。

議案第81号 中山道愛知川宿街道交流館の指定管理者の指定につき議決を求めることについて。

上記の議案を提出するものでございます。

中山道愛知川宿街道交流館の指定管理者を次のとおり指定することにつき、地方自治法第244条の2、第6項の規定により議決を求めるものでございます。

1、公の施設の名称、所在地及び施設。名称、中山道愛知川宿街道交流館、所在地、愛荘町愛知川38番地2。

2、指定管理者となる団体の所在地、名称及び代表者の氏名。1、所在地、滋賀県愛知郡愛荘町安孫子825番地。2、名称、一般社団法人愛荘町観光協会。3、代表者、代表理事、山田康義。

3、指定の期間、令和7年4月1日から令和10年3月31日までの3か年でございます。

御審議いただきますようよろしくお願いをいたします。

○議長（森野 隆君） これより質疑に入ります。質疑はありますか。6番、村田定君。

○6番（村田 定君） 6番、村田です。

愛荘町観光協会、両施設とも指定者管理ということでなったんですけども、実際、本来観光協会の仕事というのは、事業を運営することじゃなくて、やはりその観光業界全体をボトムアップしていく。やはり啓発して町全体のPRをしていくということが必要だと思うんですけども、2館になりますと、観光協会もこれ大変な、そこにハードルが高いと思うんです。

ですから、現観光協会のスタッフだけで、実際これだけできるんか。もちろん本陣にしても、今現在、6月以降運営されていますので、そういったスタッフがおられるというものの、やはり観光協会もいろんな面でやっていかなきゃいけないということもあると思うんですけど、その点はどうなんですかというのが1点と、6月6日以降、オープンされて今日まで9か月ぐらいたっているんですけど、その間の本陣のカフェのほうの状況というのはどうなんでしょうか。その点をお尋ねをします。

○議長（森野 隆君） 産業政策監。

○産業政策監兼商工観光課長事務取扱（北川三津夫君） 2点頂いたと思いますが、まず1点目の観光協会が2館なりを新たにというようなところで、人なりの部分が大変というようなところ、運営が大変というようなところであったかと思いますが、両館とも、提案によりますと、施設長なり副施設長というような核となる方を配置をし、そのほかにパートタイマーの方も雇用をしながらしていく。また、こういったことをするには、運営をしていく核となる方が必要だというようなところで、そういった方の招聘も考えておられるというような提案でございますので、そこについては、やはり人が大切というようなところは観光協会さんも御理解を頂いて、そういった配置をするというようなところで計画をされていらっしゃるところでございます。

また、6月6日に66カフェがオープンをしていただきました。観光協会の方々をはじめ、近隣の方々、関係者の方にはいろいろとお力添えを頂いて、運営を頂いていることをこの場をお借りしてお礼を申し上げたいと思います。その状況ともいうようなところでございますが、あそこのふれあい本陣につきましては、情報発信の施設、飲食提供施設、体験交流滞在施設というようなところでございます。

現時点においては、町が直営で会計年度任用職員を1名置かせていただき、飲食提供施設については観光協会が運営を頂いているというようなところでございまして、飲食提供施設につきましても、かなり御来場も頂いているというようなところで、6月6日から11月で約4,600人、700人というところ、ちょっと5,000を切

るといふようなところの方々が御来場を頂いているといふようなところでございますし、体験交流滞在施設につきましては、約100団体ぐらいの方の貸し館がございました。情報発信施設につきましては、2,700人ほどが入館をされているといふような統計といふことになってございます。

以上です。

○議長（森野 隆君） 6番、村田 定君。

○6番（村田 定君） しっかりとやっていただけるということで、そういうスタッフを置くということで、心強く感じました。また、6月以降のオープンについても、このような実績があるといふことではございますが、やはりこれは東の玄関口、こちらは西の玄関口という大きな、両施設とも愛荘町の要なところでございますので、そのらのところをしっかりと観光発信とともにつなげていただくようお願いしたいと思っておりますし、今現在、交流施設は途中から再開されて、大きな利用者があるんですけど、旅館のほう、それはどういふふうにご考慮されているのかだけお尋ねしたいと思います。

○議長（森野 隆君） 産業政策監。

○産業政策監兼商工観光課長事務取扱（北川三津夫君） 今おっしゃっていただきましたのが、中山道から入った奥の体験交流滞在施設といふようなところの宿泊部門といふようなところであろうかと思っております。あそこにつきましても、いろいろなイベントとコラボをしながら、なかなか泊まりだけといふようなところでは集客も難しいといふようなところでございますので、例えばびんてまりの製作のふるさと体験塾でありますとか、いろいろとそういった部分、あとゆめまちテラスのイベントなり、そういったところとコラボしながらといふようなところで、宿泊についてもお客さんを集客していきたいといふようなところで考えておられるところでございます。

○議長（森野 隆君） ほかに質疑はありますか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） これで質疑を終わります。

これより討論に入ります。初めに、反対討論はありますか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 次に、賛成討論はありますか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 討論なしと認めます。

これより議案第81号を採決します。本案は原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（森野 隆君） 全員起立であります。よって、議案第81号 中山道愛知川宿街道交流館の指定管理者の指定につき議決を求めることについては、原案のとおり可決されました。

◎議案第82号～議案第84号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（森野 隆君） 追加日程第6、議案第82号 契約の締結につき議決を求めることについてから追加日程第8、議案第84号 契約の締結につき議決を求めることについてまでを一括議題にします。質疑、討論は一括で行い、採決はそれぞれの議案ごとに実施します。

本案について提案理由の説明を求めます。経営戦略課長。

○経営戦略課長（田中孝幸君） それでは、お配りしております議案書13ページをお開きください。

議案第82号 契約の締結につき議決を求めることについて。

上記の議案を提出させていただきます。

次のように変更請負契約を締結することにつき、地方自治法第96条第1項第5号並びに愛荘町議会の議決に付すべき契約および財産の取得または処分に関する条例第2条の規定により、議決を求めさせていただきます。

1、契約の目的。令和5年度工事第7号、愛荘町役場庁舎等リニューアル工事（給排水冷暖房工事）。

2、変更契約の金額。変更前の契約金額9,645万200円。変更後の契約金額9,909万9,000円。

3、契約の相手方。住所、滋賀県愛知郡愛荘町安孫子249番地。氏名、株式会社湖東工業所代表取締役、上林清作様でございます。

続きまして、14ページをお願いします。

議案第83号 契約の締結につき議決を求めることについて。

上記の議案を提出します。

次のように変更請負契約を締結することにつき、地方自治法並びに愛荘町議会の議

決に付すべき契約および財産の取得または処分に関する条例の規定に基づき、議決を求めるとでございます。

1、契約の目的。令和5年度工事第8号、愛荘町役場庁舎等リニューアル工事（建築工事）です。

2、変更契約の金額。変更前の契約金額4億5,751万900円。変更後の契約金額4億7,804万9,000円。

3、契約の相手方。住所、滋賀県蒲生郡日野町松尾5丁目1番地。氏名、株式会社奥田工務店代表取締役、北川昭市でございます。

続きまして、15ページをお願いします。

議案第84号 契約の締結につき議決を求めることについて。

上記の議案を提出させていただきます。

先ほど来と一緒に、変更契約の締結につき地方自治法並びに町条例に基づき議決を求めるとでございます。

1、契約の目的。令和5年度工事第9号、愛荘町役場庁舎等リニューアル工事（電気設備工事）。

2、変更契約の金額。変更前の契約金額1億874万7,100円。変更後の契約金額1億1,845万5,700円。

3、契約の相手方。滋賀県草津市川原町132番地の4。氏名、株式会社中島電業所代表取締役、中嶋良典様でございます。

以上、御審議賜りますようよろしくお願いいたします。

○議長（森野 隆君） これより議案第82号から議案第84号の質疑に入ります。質疑はありませんか。1番、久保田正利君。

○1番（久保田正利君） 質疑といいますか、今回、工事の内容で、やはり今まで全協のほうでいろいろと協議してまいりましたが、増改築にあっては、地中障害であったり、見えない部分が多々あるとは思いますが、でも、思うから余計に設計費の調査、非常に大変やと思いますので、今後、その辺の対応についてどのようにされていくか。また、管理体制、1つ増えたら1つどうやとかではなくて、やはり増減の協議をやっぱりしっかりして行って、多く見ておるものであれば、設計の中で変更して行って、限りなく追加のない増減の管理をして行っていただきたいというふうに思っておりますので、その辺に対して今後どのようにされていくかということの説明いただけたら

というふうに思っております。

○議長（森野 隆君） 経営戦略課長。

○経営戦略課長（田中孝幸君） お答え申し上げます。

今回の庁舎等リニューアル工事の2か年にわたる工事におきましては、本当に都度都度の全員協議会で変更内容等をお話をさせていただいたときに、私どものほうも本当に気づいていない点という部分を議員の皆様の方からも御指導、またいただいたところで、これから本当に愛荘町のところという部分につきましては、いろいろと今の施設を維持していくというところの期間に入ってきます。一例を申し上げますと、今後はまたLED化という部分も本当に入ってくる中で、我々の力は及ばない点につきましては、コンサル業者さんとか、委託業者様のほうのお力を借りながらもありますが、そこに任せっきりでないというところが大切なところだと思っております。我々のこのどうしてほしいという気持ちもしっかり伝え、そしてまた今の新しい技術をしっかり利用者さんから聞いた中で、何が最適なのかと。そして、さらに今後の先を見据えた部分をしっかりと打合せをしながら、この愛荘町内にある施設を今後も維持していくような形で組み立てた設計をした中で工事発注をしていくとともに、先ほど言われましたように、追加工事という部分の精査という部分は特に大切なことであるということです、その辺、しっかり工事、都度都度我々の今回の工事、1週間ごとに工事打合せをしておりますが、その中で、追加工事の必要性という部分を議論した中で進めさせていただきたいと思っております。また、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

○議長（森野 隆君） 1番、久保田正利君。

○1番（久保田正利君） 今御答弁いただきましたように、任せっきりでないというのは、技術的なことを任せっきりでなくて、気づきやと思うんです。技術的なことはやはり業者に任せたらいいと思うんですけど、こんでいいのか、あんでいいのかという気づきは大切やと思います。その大切な気づきを定例打合せであったりとか、打合せの中で住民側の、発注者側の立場となって聞いていっていただきたいなというふうに思っておりますので、よろしく申し上げます。

以上です。

○議長（森野 隆君） ほかに質疑はありませんか。2番、小菅久宣君。

○2番（小菅久宣君） 2番、小菅です。

今、この追加工事の中で、相談室というところ辺が追加工事になっていると思います。相談室のあの空気、統一感のない灰色の相談できるような雰囲気になっているのかなというところが、私は疑問に思うところです。追加工事がなされて、窓もひとつ、明かり窓もないし、灰色の形、ねずみ色というか灰色のような形の中で、何を相談するのというような違和感のあるデザイン性になっております。原課と工事者との間に、そういう中のデザイン性についてどういう議論があったのか等々についてお尋ねいたします。

○議長（森野 隆君） 経営戦略課長。

○経営戦略課長（田中孝幸君） お答え申し上げます。

当初、今議員おっしゃられております白っぽいほう、場所的な位置で申し上げますと、大会議室側のほうにつきましては、ミーティングルームという位置づけで、当初検討しております。ミーティングをするに当たっては多少の天井等空いている中でいうと音、声等が漏れてもいいのかなという部分で実施をさせていただいた中で、2階のフロアの部分につきましては、みらい創生課のほうでいうと、女性の悩みの、DV的な意味合いも兼ねた相談に来られる方、また人権政策課のほうに、2階に来ていただいた中で、そういう人権に関する相談事、そしてまた教育委員会については、子育て関係の相談事が2階の部分で相談できるスペースがないねという部分、これは先ほど来も言っていたように、当初からの私どものほうがそこに気づいていなかったというところは反省すべき点でございます。

そうした中で、追加工事でしっかりと防音というか、相談者の部分が漏れない部屋をつくっていくべきであるというところの中で、少し発注の段階での部分とは違うということで、今の北側のほうに新たに木目調というか、木目色の部屋を設けさせていただいて、その辺の調和が取れていないという部分でございます。

今も申し上げたように、少し会議の内容というかコンセプトが違うという内容も踏まえて、今現在、このような部分で最終、完成して使用していこうという考えでございますので、御理解賜りますようよろしくお願いいたします。

○議長（森野 隆君） 2番、小菅久宣君。

○2番（小菅久宣君） 人の感覚かどうか分かりませんが、相談したいなというような相談室であってほしかったというのが私の考えで、少しぐらい、あそこ吹き抜けの部分やったさかいに、上の部分は明かり窓ぐらいつけたかって、防音的なことは

そないに関係ないのかなと思ったりもします。何かもうひとつ陰気臭いなというのが私の考え方で、これは感覚かどうか、課長、原課のほうはそれでいいと言わはるねやったらそうかしれませんが、もうちょっと明るい雰囲気の中の相談室であったほうがいいかなと思ったので、意見を述べさせていただきました。ありがとうございます。

○議長（森野 隆君） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） これで質疑を終わります。

これより議案第82号から議案第84号の討論に入ります。初めに、反対討論はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 次に、賛成討論はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 討論なしと認めます。

初めに議案第82号を採決します。本案は原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（森野 隆君） 起立全員であります。よって、議案第82号 契約の締結につき議決を求めることについては、原案のとおり可決されました。

次に、議案第83号を採決します。本案は原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（森野 隆君） 起立全員であります。よって、議案第83号 契約の締結につき議決を求めることについては、原案のとおり可決されました。

次に、議案第84号を採決します。本案は原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（森野 隆君） 起立全員であります。よって、議案第84号 契約の締結につき議決を求めることについては、原案のとおり可決されました。

◎議案第85号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（森野 隆君） 追加日程第9、議案第85号 契約の締結につき議決を求めることについてを議題にします。

本案について提案理由の説明を求めます。教育次長。

○教育次長兼教育振興課長事務取扱（陌間秀介君） それでは、議案書16ページを御覧を頂きたいと思います。

議案第85号 契約の締結につき議決を求めることについて。

上記の議案を提出し、議決をお願いをするものでございます。

契約の締結につき議決を求めることについて。

次のように変更請負契約を締結することにつき、地方自治法第96条第1項第5号並びに愛荘町議会の議決に付すべき契約および財産の取得または処分に関する条例第2条の規定により、議決を求めるものでございます。

1、契約の目的。令和6年度繰越工事第2号、秦荘中学校管理教室棟大規模改造その他工事。

2、変更契約の金額。変更前の契約金額1億6,475万8,000円。変更後の契約金額1億6,917万3,400円。

3、契約の相手方。住所、滋賀県彦根市小泉町78番地の21。氏名、株式会社伊藤組代表取締役、奥村善行でございます。

以上、御審議のほどよろしくお願い申し上げます。

○議長（森野 隆君） これより質疑に入ります。質疑はありますか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。初めに、反対討論はありますか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 次に、賛成討論はありますか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 討論なしと認めます。

これより議案第85号を採決します。本案は原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（森野 隆君） 起立全員であります。よって、議案第85号 契約の締結に

つき議決を求めることについては、原案のとおり可決されました。

◎議案第86号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（森野 隆君） 追加日程第10、議案第86号 令和6年度愛荘町一般会計補正予算（第8号）を議題にします。

本案について提案理由の説明を求めます。総務政策監。

○総務政策監兼会計管理者（生駒秀嘉君） それでは、補正予算書の1ページをお願いをいたします。

議案第86号 令和6年度愛荘町一般会計補正予算（第8号）は、次に定めるところによります。

歳入歳出予算の補正、第1条、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億1,912万円を追加をし、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ123億1,018万5,000円とするものがございます。

第2項、歳入歳出の予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、第1表 歳入歳出予算補正による。

債務負担行為の補正。第2条、債務負担行為の追加は、第2表 債務負担行為補正による。

上記の議案を提出するものがございます。

2ページをお願いをいたします。

第1表の歳入歳出予算補正でございます。

今回の12月補正につきましては、人事異動、人事院勧告による理由が主なものでございます。

まず、人事院勧告の部分でございますけれども、条例の改正としてもお願いをしておりましたが、正規職員及び会計年度任用職員、特別職に係る賞与及び給与、報酬について、人事院勧告に基づき増額補正として反映をさせていただいたものでございます。

また、人事異動となっている部分につきましては、人事異動は4月に行いますけれども、予算編成につきましては、前年度の令和5年度中に作成をするということになってございますので、人事異動分が予算に反映をされておられませんので、例年この12月に追加補正にてお願いをするものがございます。

それでは順次、歳入より説明をさせていただきます。

上段からでございます。14款国庫支出金1項国庫負担金、補正予算額が79万円の追加。

15款県支出金1項県負担金39万5,000円の追加。

17款寄付金1項寄付金2,000万円の追加。

18款繰入金2項基金繰入金8,072万7,000円の追加。歳入合計といたしまして1億191万2,000円の追加となっております。

それでは、3ページの歳出をお願いをいたします。

1款議会費1項議会費、補正予算額が113万円の追加。

2款総務費1項総務管理費1,485万1,000円の追加。2項徴税費164万7,000円の追加。3項戸籍住民基本台帳費651万8,000円の減。5項統計調査費70万9,000円の減。

3款民生費1項社会福祉費665万6,000円の追加。2項児童福祉費199万5,000円の減。

4款衛生費1項保健衛生費63万6,000円の追加。

6款農林水産業費1項農業費406万円の追加。

7款商工費1項商工費773万1,000円の追加。

8款土木費1項土木管理費315万4,000円の追加。2項道路橋梁費173万6,000円の追加。4項都市計画費88万円の追加。5項住宅費102万1,000円の追加。

4ページをお願いをいたします。

9款消防費1項消防費85万3,000円の追加。10款教育費1項教育総務費2,455万2,000円の追加。2項小学校費383万3,000円の追加。3項中学校費124万7,000円の追加。4項幼稚園費184万6,000円の減額。5項社会教育費1,649万1,000円の追加。6項保健体育費250万2,000円の追加。13項諸支出金で、2項基金2,000万円の追加。

歳入歳出とも、補正予算額といたしまして1億191万2,000円の追加で、補正後の予算額といたしまして123億1,018万5,000円となっております。

続いて、5ページをお願いをいたします。

第2表 債務負担行為補正でございます。先ほど御議決を頂きました指定管理者の

指定案件に係ります補正でございます。

1、追加。事項といたしまして、中山道愛知川宿街道交流館指定管理料、期間を令和6年度から令和9年度までの3年間、限度額を8,532万3,000円とさせていただきます。

その下、湖東三山館あいしょう指定管理料、同じく期間を令和9年度までの3年間で、限度額を4,203万7,000円とさせていただきます。

あと、29ページから32ページまでが給与費明細書となっておりますので、御確認をよろしくお願ひしたいと思います。

以上、説明とさせていただきます。御審議よろしくお願ひをいたします。

○議長（森野 隆君） これより質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔なし〕の声あり〕

○議長（森野 隆君） 質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。初めに、反対討論はありませんか。

〔なし〕の声あり〕

○議長（森野 隆君） 次に、賛成討論はありませんか。

〔なし〕の声あり〕

○議長（森野 隆君） 討論なしと認めます。

これより議案第86号を採決します。本案は原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（森野 隆君） 起立全員であります。よって、議案第86号 令和6年度愛荘町一般会計補正予算（第8号）は、原案のとおり可決されました。

◎議案第87号～議案第90号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（森野 隆君） 追加日程第11、議案第87号 令和6年度愛荘町国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）から追加日程第14、議案第90号 令和6年度愛荘町下水道事業会計補正予算（第2号）までを一括議題とします。質疑、討論は一括で行い、採決はそれぞれの議案ごとに実施します。

本案について提案理由の説明を求めます。福祉政策監。

○福祉政策監兼健康推進課長事務取扱兼子育て世帯包括支援センター所長事務取扱（木

村美紀君 補正予算書の33ページをお開きください。

議案第87号 令和6年度愛荘町国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）は次に定めるところによるものでございます。

歳入歳出予算の補正、第1条、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ451万3,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ19億8,756万4,000円とするものです。

2項、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、第1表 歳入歳出予算補正によるものです。

上記の議案を提出いたします。

それでは、第1表 歳入歳出予算補正で説明させていただきます。34ページをお願いいたします。

歳入の部でございます。10款繰越金1項他会計繰越金、補正予算額451万3,000円の追加。

歳入合計、補正前予算額19億8,305万1,000円、補正予算額451万3,000円、補正後予算額19億8,756万4,000円です。

次のページ、35ページをお願いいたします。

歳出の部でございます。1款総務費1項総務管理費、補正予算額429万9,000円の追加。2項徴税費21万4,000円の追加。

歳出合計、補正前予算額19億8,305万1,000円、補正予算額451万3,000円、補正後予算額19億8,756万4,000円です。

40ページから42ページは給料費明細書となっております。

以上、説明とさせていただきます。御審議のほどよろしくをお願いいたします。

続きまして、補正予算書の43ページをお願いいたします。

議案第88号 令和6年度愛荘町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第4号）は、次に定めるところによるものでございます。

歳入歳出予算の補正、第1条、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ71万8,000円を追加し、歳入歳出の予算の総額を歳入歳出それぞれ2億5,687万4,000円とするものです。

2項、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、第1表 歳入歳出予算補正によるものです。

上記の議案を提出いたします。

それでは、44ページをお開きください。

歳入の部でございます。1款繰入金1項一般会計繰入金、補正予算額71万8,000円の追加。

歳入合計、補正前予算額2億5,615万6,000円、補正予算額71万8,000円、補正後予算額2億5,687万4,000円です。

次のページ、45ページをお願いいたします。

歳出でございます。1款総務費1項総務管理費、補正予算額71万8,000円の追加。

歳入合計、補正前予算額2億5,615万6,000円、補正予算額71万8,000円、補正後予算額2億5,687万4,000円です。

50ページから52ページは給料費明細書となっております。

以上、説明とさせていただきます。御審議のほどよろしくをお願いいたします。

続きまして、議案書の53ページをお願いいたします。53ページになります。

議案第89号 令和6年度愛荘町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）は次に定めるところによるものでございます。

歳入歳出予算の補正、第1条、歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ446万2,000円を減額し、歳入歳出の予算の総額を歳入歳出それぞれ16億5,625万円とするものです。

2項、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、第1表 歳入歳出予算補正によるものです。

以上の議案を提出いたします。

54ページをお願いいたします。

歳入でございます。3款国庫支出金2項国庫補助金、補正予算額266万2,000円の減額。

5款県支出金2項県補助金133万1,000円の減額。

8款繰入金1項一般会計繰入金53万8,000円の減額。2項基金繰入金6万9,000円の追加。

歳入合計、補正前予算額16億6,071万2,000円、補正予算額446万2,000円、補正後予算額16億6,625万円です。

次のページ、55ページをお願いいたします。

歳出の部でございます。1款総務費1項総務管理費、補正予算額9万9,000円の追加。3項認定審査費69万3,000円の追加。

4款地域支援事業2項包括的支援事業・任意事業691万3,000円の減額。

6款諸支出金、2項基金積立金165万9,000円の追加。

歳出合計、補正前予算額16億6,071万2,000円、補正予算額446万2,000円、補正後予算額16億5,625万円でございます。

61ページから63ページは給料費明細書となっております。

以上、説明とさせていただきます。御審議のほどよろしくお願い申し上げます。

○議長（森野 隆君） 続きまして、産業政策監。

○産業政策監兼商工観光課長事務取扱（北川三津夫君） それでは、議案書64ページをお願いをいたします。

議案第90号 令和6年度愛荘町下水道事業会計補正予算（第2号）について御説明を申し上げます。

総則、第1条、令和6年度愛荘町下水道事業会計補正予算（第2号）は、次に定めるところによるものでございます。

収益的収入及び支出の補正、第2条、令和6年度愛荘町下水道事業会計予算第3条に定めた収益的収入及び支出の予定額を次のとおり補正をさせていただきます。

収入、支出とも88万円の追加でございます。

他会計からの補助金の補正、第3条、下水道事業の営業助成のため、一般会計からこの会計へ補助を受ける金額を2億5,469万7,000円とする。

上記の議案を提出するものでございます。

65ページをお願いいたします。

令和6年度愛荘町下水道事業会計補正予算実施計画でございます。

収入の部。1款下水道事業収益1項営業外収益88万円の追加、収入の合計が8億9,500万でございます。

おめくりいただきまして、66ページ、支出でございます。1款下水道事業費用1項営業費用88万円の追加。

支出合計9億9,056万1,000円でございます。

67ページには予定キャッシュフロー計算書、72ページからは予定貸借対照表を

添付をさせていただいております。御審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（森野 隆君） これより議案第87号から議案第90号の質疑に入ります。
質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 質疑なしと認めます。

これより議案第87号から議案第90号の討論に入ります。初めに、反対討論はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 次に、賛成討論はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 討論なしと認めます。

初めに議案第87号を採決します。本案は原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（森野 隆君） 起立全員であります。よって、議案第87号 令和6年度愛
荘町国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）は、原案のとおり可決されました。

次に、議案第88号を採決します。本案は原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（森野 隆君） 起立全員であります。よって、議案第88号 令和6年度愛
荘町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第4号）は、原案のとおり可決されまし
た。

次に、議案第89号を採決します。本案は原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（森野 隆君） 起立全員であります。よって、議案第89号 令和6年度愛
荘町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）は、原案のとおり可決されました。

次に、議案第90号を採決します。本案は原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（森野 隆君） 起立全員であります。よって、議案第90号 令和6年度愛
荘町下水道事業会計補正予算（第2号）は、原案のとおり可決されました。

○議長（森野 隆君） ここで暫時休憩いたします。再開を10時50分といたしま
す。

休憩 午前10時36分

再開 午前10時50分

○議長（森野 隆君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

○議長（森野 隆君） お諮りします。ただいま意見書1件、議提6件が提出されま
した。これを日程に追加し、直ちに議題としたいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 異議なしと認めます。よって、意見書1件、議提6件を日程
に追加し、直ちに議題とすることに決定しました。

◎意見書第1号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（森野 隆君） 追加日程第1、意見書第1号 企業・団体献金の全面禁止を
求める意見書を議題にします。

本案について提案理由の説明を求めます。辰己 保君。

○13番（辰己 保君） 意見書第1号を提案させていただきます。

追加議事日程、1ページをお開きいただきたいと思います。朗読をもって提案とさ
せていただきます。

愛荘町議会議長、森野 隆様。

企業・団体献金の全面禁止を求める意見書。

上記の議案を愛荘町議会会議規則第14条の規定により提出する。提出者、愛荘町
議会議員、辰己 保。賛成者、同、瀧 すみ江。

2ページに意見書文を上げています。

企業・団体献金の全面禁止を求める意見書。

今回の総選挙の結果は、裏金問題への国民の怒りの表れです。国会には真相解明と
金の力で政治をゆがめ、裏金づくりの温床である企業・団体献金を禁止することが強

く求められています。営利を目的とする企業が献金やパーティー券の購入を行うのは、政策的な見返りを求めているためです。金の力で政治をゆがめることは決して許されません。

総選挙では、立憲民主党、日本維新の会、れいわ新選組、日本共産党、社民党が選挙政策に企業・団体献金の禁止を掲げています。国民民主党の玉木雄一郎代表も、1月の会見では「全ての党が合意して廃止すべきということであれば、我々も廃止すべきという立場なので、こうした合意を得られるようにしていきたい」と述べています。

前述の5党（204議席）と国民民主の獲得議席は232と自公の215を上回ります。企業・団体献金禁止の公約を実行することは、国民に対する責任です。

よって、愛荘町議会は、国会及び政府に対し幾度となく繰り返されてきた金権腐敗政治の問題を根絶するため、企業・団体献金を全面的に禁止するよう強く要請します。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和6年12月20日。

衆議院議長様、参議院議長様、内閣総理大臣様、総務大臣様。

滋賀県愛荘町議会。

以上、意見書を御提案し、御審議を頂きますようお願いいたします。

○議長（森野 隆君） これより質疑に入ります。質疑はありますか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。初めに、反対討論はありますか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 次に、賛成討論はありますか。11番、瀧 すみ江君。

○11番（瀧 すみ江君） 11番、瀧 すみ江。賛成討論を行います。

意見書第1号 企業・団体献金の全面禁止を求める意見書に対して賛成を表明します。

政治資金規正法改正を含む政治改革関連3法案が、17日の衆院本会議で賛成多数で可決しました。その中で、立憲民主党など6会派が政策活動費廃止法案を共同提出しました。今後、国会で行うべきは、総選挙での国民の審判に応えた自民党裏金問題の真相究明と金権腐敗政治の一掃です。

政治改革の根幹の企業・団体献金の禁止こそ国民の声です。自民党は、企業・団体

献金に固執し、国民の声に耳を貸そうとはしていません。企業団体献金は本質的に賄賂であり、営利が目的の企業が巨額の金の力で政治に影響を与えれば、政治は大企業、財界に向けたものになります。

国民のための新しい政治へと進むには、企業・団体献金の全面禁止が絶対に必要であることを訴えまして、賛成討論といたします。

○議長（森野 隆君） ほかに討論はありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（森野 隆君） これで討論を終わります。

これより意見書第1号を採決します。本案は原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（森野 隆君） 起立少数です。よって、意見書第1号 企業・団体献金の全面禁止を求める意見書は、否決されました。

◎議提第16号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（森野 隆君） 追加日程第2、議提第16号 議会の委任による専決処分事項の指定についての一部改正を議題にします。

本案について提案理由の説明を求めます。13番、辰己 保君。

○13番（辰己 保君） 議提第16号 議会の委任による専決処分事項の指定についての一部改正を御提案申し上げます。

初めに、一部改正の理由の説明を行います。議案説明資料、議員提案の説明資料がお手元に配付されていると思います。

1ページを御覧いただきたいと思います。

一部改正理由です。損害賠償に伴う議案審議等の迅速化を図ることや変更契約に伴う議案審議等を再構築することを目的に、愛荘町議会議員のみの議会運営委員会及び全員協議会で、県内ほか5町の状況等を踏まえ、協議を実施しました。この結果や文言整理を反映し、一部改正するものでございます。

一部改正要旨等は、議案書で説明を行います。追加議事日程①の3ページを御覧いただきたいと思います。これを朗読させていただきます。

愛荘町議会議長、森野 隆様。

議会の委任による専決処分事項の指定についての一部改正。

上記の議案を愛荘町議会会議規則第14条の規定により提出をする。提出者、愛荘町議会議員、辰己 保。賛成者、同、中川喜代和。村西作雄。高橋正夫。竹中秀夫。

次、追加議案書をめくっていただいた4ページ、御覧いただきたいと思います。

議会の委任による専決処分事項の指定についての一部改正。

議会の委任による専決処分事項の指定について（平成18年6月21日）の一部を次のように改正する。

前文中「地方自治法（昭和22年法律第67号）」の次に、「。以下「法」という。」を加える。

第1項中「地方自治法」を「法」に、「得た」を「経て締結した」に、「ただし契約金額の100分の10を超える金額に相当する契約金額の変更を除く。」を「ただし、変更後の契約金額が増減500万円以下の範囲であること。」に改める。

第1項の次に次の項を加える。

2、法第96条第1項第13号に規定する法律上その義務に属する100万円以下（自動車の運行による事故に係るものにあつては500万円以下）の損害賠償の額を定めること。

付則。この議決の効力は、令和6年12月21日から生ずるものとする。

以上、よろしく御審議のほどお願いいたします。

○議長（森野 隆君） これより質疑に入ります。質疑はありますか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。初めに、反対討論はありますか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 次に、賛成討論はありますか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 討論なしと認めます。

これより議提第16号を採決します。本案は原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（森野 隆君） 起立全員であります。よって、議提第16号 議会の委任に

よる専決処分事項の指定についての一部改正は、原案のとおり可決されました。

◎議提第17号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（森野 隆君） 追加日程第3、議提第17号 愛荘町議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例を議題にします。

本案について提案理由の説明を求めます。4番、澤田源宏君。

○4番（澤田源宏君） 愛荘町議会議員の定数を定める条例の一部を改正する理由から説明させていただきます。

愛荘町を含む地方議会は、様々な問題が指摘されてまいりました。特に住民との直接対話、住民参加が不十分など、こうした指摘に応え、二元代表制における議会の役割を明確にし、その機能を十分に発揮していかなければなりません。

住民参加とは、議会議員全員自ら行うことであります。住民の信頼を得るためには、議会運営の在り方はもちろんですが、議員定数の問題など、自らが改革に取り組む強い覚悟と行動が必要だと思えます。

議員は、住民自治の立場に立ち、住民自治を強化する観点から、今以上に議会改革を進め、さらに議員力の向上に努めなければなりません。

議員定数というものは、議会が民主主義、地方自治法の根幹をなす重要な機能を果たすものだけに、議員報酬や財政事情だけでは考えられるものではありません。愛荘町議会議員の適正規模は、議会活動の中身に照らし、議会の活性化問題と合わせて判断されるべきものであると思えます。

また、議員の質の問題につきましては、町民さんが議員力のある議員を選挙で選んでいくものであります。

一方、平成23年4月には地方議会の自由度の拡大、自主的な判断に完全に委ねる等の観点から、地方自治法の一部改正による議員定数の法定上限数が撤廃され、市町村の議会の議員定数は、条例で定めると改めています。

これまでの議員定数と報酬額の状況を述べさせていただきます。まず、合併前の状況であります。旧秦荘町の議員定数は12人で、報酬額は16万円でありました。また、旧愛知川町の議員定数は14人で、報酬額は16万5,000円でありました。平成18年2月13日に旧秦荘町と旧愛知川町が合併し、愛荘町が誕生しました。議会の議員については、市町村の合併の特例に関する法律第7条第1項第1号の規定を適

用せず、新町設置の日から50日以内に選挙し、市長選挙との同日選挙となりました。新町の議会の議員の定数については、16人と決定されました。また、議員報酬額は月額18万円に定められました。

その後、平成24年9月愛荘町議会定例会において、議員提案により議提第8号 愛荘町議会議員の定数を定める条例の制定が提出され、賛成多数で可決し、議員定数が16人から現行の14人になりました。

また、平成28年3月愛荘町議会定例会において、町執行部より特別職報酬等審議会の答申を受け、議案第8号 愛荘町議会議員の議員報酬および費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例が提案され、賛成多数で可決し、平成28年4月1日から議員報酬額が月額24万円となりました。

現在、全世界では、物価高騰などの影響により経済が大変厳しい状況であります。収束に当たってはいつになるのか、いまだに先行きが見えない状況ではないでしょうか。愛荘町も今日まで経済対策の中、様々なコロナ対策や物価高騰対策に税金等を投入され、財政状況も大変厳しいと考えます。

令和5年度の決算書における歳入面では、自主財源の基本となる町税については、約31億6,300万円であり、前年度比約4,600万円の増であり、一定5%増加しております。一般財源の大半を占める地方交付税においては約26億5,600万円であり、前年度比約8,700万円の増であり、3.4%増加しております。普通交付税の代替財源と言える臨時財政対策債は約5,100万円、前年度比約6,100万円の減であり、54.8%減少しております。

一方、歳出面においては、義務的経費が約46億1,800万円であり、前年度比約1億8,900万円の増であり、4.3%増加しております。一般行政経費が約40億1,800万円であり、前年度比約1億6,300万円の増であり、4.2%増加しております。物価高騰による施設管理費の増加の影響が考えられます。

このような歳入歳出面から、経常収支比率については95.4%、前年度比2.3%の増であり、悪化しております。今後も大変厳しい財政状況であると考えます。

加えて、一般会計の地方債残高は約129億4,700万円であり、前年度比約3,300万円の減であります。基金残高は約43億8,700万円であり、前年度比約3億800万円減少しております。借金は微減であるが、預金が減少するという面でも、実質公債費比率が5.4%、前年度比0.9%の増加により悪化し、将来負担比率にお

いても32.6%、前年度比3.3%の増加により悪化しております。このような状況であり、財政健全化費用も厳しい財政状況を迎えてつあることが分かります。

また、愛荘町決算審査における監査委員の意見書においても、今後は年々増加する社会保障費や彦根・愛知・犬上広域行政組合、新ごみ処理施設の建設や近江鉄道の上下分離移行に伴う負担金等が増加すると見込まれることから、さらに財政運営が厳しくなることが予想され、公共施設においても限られた財源で運営しなければならないとあり、聖域なき行財政改革の推進などの対応が望まれると意見がありました。

現在の議員定数14人を12人に削減すると、令和6年度予算ベースで年間約940万円の削減となり、1期4年間では約3,700万円の削減が見込めます。議会が自ら身を切る改革を行うことで、財源の捻出ができます。子供たちの教育、また少子高齢化が進む中、福祉等に財源が使われることを切に願います。

全国町村議会議長会の資料によると、令和5年7月1日時点の全国町村議会は926あります。このうち、議員の成り手不足により議員定数に達していない議会は174あり、全体の約18.8%を占めております。全国的に無投票や定数割れの数は増加しております。令和元年5月から令和5年4月までの4年間では、無投票が254あります。また、立候補者が定数プラス1で無投票を何とか回避した数は299であります。議員の成り手不足が深刻化し、地方自治の根幹を揺るがす事態となっております。

令和4年2月の愛荘町議会議員一般選挙においても無投票となり、歴史上初めてのことであります。また、県内でもこのような状況や定数削減が実施されております。

日野町議会においては、令和5年4月に施行された日野町議会議員一般選挙においては、定数14人に対して候補者が16人でありましたが、法定得票数未満が3人となり、実数は13人です。

竜王町議会においては、令和5年9月に施行される予定であった竜王町議会議員一般選挙は、定数12人に対して候補者が12人であったため、無投票となりました。

甲良町議会では、令和5年6月定例会で議員定数を12人から10人に削減する提案を賛成多数で可決されました。また、多賀町議会においても、令和4年9月定例会で議員定数を12人から10人に削減する提案を賛成多数で可決されました。

近年の県内市議会においても、長浜市議会は26人から22人に削減され、米原市議会は20人から18人に削減され、近江八幡市議会では24人から22人に削減されています。

単に経費削減という捉えではないことや、議員の質の向上、常任委員会の在り方や、本気で町政と向き合っていく建設的な言動のできる議員を求めています。議会が見えづらく、何をしているのか分からない部分や議会としての活動や委員会活動の状況の発信等に問題があります。

議員定数の削減により、町民の思いが町政に反映されにくくなることや監視機能の低下等が懸念されることがありますが、もっと自らが議員活動、議会活動を行えば町政に反映できます。

直近の愛荘町議会の取組としては、令和6年10月に総務産業建設常任委員会と愛荘町消防団で意見交換会を実施し、現場の最前線で活動されている方々の意見を把握できたことや、全議員で姉妹都市である栃木県那珂川町議会を視察し、団体との意見交換会や議会報告会を積極的に実施され、町民の実情や意見を把握されていることを確認しました。愛荘町議会においても議会改革、議員力の向上、議会報告会、意見交換会などを積極的に実施し、町民の声を把握すべきと多くの議員から意見があり、愛荘町議会改革特別委員会において、議会報告会を実施する方向で調整されています。

このようなことから、議員定数の削減により、町民の思いが町政に反映されにくくなることや監視機能の低下等の懸念は払拭されます。逆に、今まで以上に町民の声を町政に反映することができます。

全国と同規模自治体の人口、面積等を鑑みれば、愛荘町議会の議員定数の削減は可能であると考えます。何よりも町民の負託に応えられるよう、議員一人一人の資質、審議能力の向上に日々研さんに努め、議員活動に励むことが肝要であり責務でもあります。

愛荘町の将来を真摯に考え、愛荘町議会としても町とともに率先し議会改革に身を投じ、議決責任を果たすべく、そして、町民の福祉向上に議会活動に邁進することを改めて確認し合い、愛荘町議会議員定数14人を12人に改定する愛荘町議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例であります。

議提第17号、愛荘町議会議長、森野隆様。

愛荘町議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例。

上記の議案を愛荘町議会会議規則第14条の規定により別紙のとおり提出する。

提出者、愛荘町議会議員、澤田源宏。

賛成者、愛荘町議会議員、久保田正利。同、村田 定。同、上田太治。同、高橋正

夫。同、村西作雄。同、竹中秀夫。

愛荘町議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例。

愛荘町議会議員の定数を定める条例の一部を次のように改正する。

「14人」を「12人」に改める。

この条例は公布の日から施行し、この条例の施行の日以後初めてその期日を公示される一般選挙から適用する。

皆さん、御審議のほどどうぞよろしく申し上げます。

○議長（森野 隆君） これより質疑に入ります。質疑はありませんか。3番、中川喜代和君。

○3番（中川喜代和君） 提出者の澤田議員にお聞きします。

1点目、町民の思いや意見、要望などが反映されにくくなります。また、他の市町が定数を削減しているから我が町も削減しようとするのであれば、いかななものかと思えます。

2点目、町職員の定数を増やそうとしているのに、一方では議員定数の削減、これは逆行しているのではないかと考えます。

3点目、人口や面積などを鑑みれば、定数の削減は可能であると書いてありますが、その根拠が私には見えません。

この資料に書いてあるように、前回無投票であったのも事実です。成り手不足も否定しません。我々議員は町民の代表者であり、奉仕者でもあります。町民全体の利益及び福祉向上を目指して、議会の議決権と監視機能を適切に行使しなければなりません。このほど議会改革で議会報告会や各常任委員会で各種団体との意見交換などをしようと進めております。その中で、住民の方々の御意見などを頂戴し、それをまとめて、その後検証した上で定数削減をしてもいいのではないかと考えますが、いかがお考えかお聞かせください。

○議長（森野 隆君） 4番、澤田源宏君。

○4番（澤田源宏君） まず1点目ですが、議会が住民に反映されにくいということについては、議員が自ら現場に赴き、いろいろここにも書いてあるとおり、議会報告会なりこういう消防団とのこういう意見交換会を常にやっていけば、それは進むと思っております。

そして、次の2点、ほかの町と比べてというのがありますが、ほかの町と比べてい

るわけではないんですが、ほかがそうしているということを書いているだけで、私は議員がしっかりすれば、議員定数は2人減でも十分いけると考えております。

3点目、面積とかそれもあまり考えず、私は取りあえずこの議員定数削減ということは、面積云々もあるとは思いますが、私、2人減は十分やっていけると確信を持って提案させていただきました。

以上です。

○議長（森野 隆君） ほか、ございませんか。9番、外川善正君。

○9番（外川善正君） 外川善正。

提案者の方、また賛成者の方、どなたでも結構ですので、御答弁いただければいいかと思えます。

ただいま澤田議員から削減理由についていろんな角度から説明していただき、本当にありがとうございました。その一つ一つについて議論しようとは思っていません。私は入口に立ったところら辺の話で若干お聞きしたいと思えます。

冒頭で議会議員の適正規模は議会活動の中身に照らし、議会の活性化問題を併せ判断されるべきもの、そういうふうにお話しいただきました。私は現在、議会改革基本条例、今は議会改革基本条例ができております。それに基づいて、少しずつ活動もやるようになってきました。そして現在、その議会改革基本条例、それをベースに議会改革基本条例をつくらうとしています。最終的な条例を。そこへ至るときに、今議論をし、そして議会報告会も実施して、その中身を充実させようとしております。そうした中で、削減の定数を出してくるというその理由は何であるかというのをお聞かせ願いたいと思えます。

以上です。

○議長（森野 隆君） 4番、澤田源宏君。

○4番（澤田源宏君） 私は後からと違って、先に議員から議員定数を削減することによって議会改革の一番の最優先課題やと思っております。

以上です。

○議長（森野 隆君） ほか、誰か答弁される賛同議員、賛成議員いらっしゃいますか。そしたら、9番、外川善正君。

○9番（外川善正君） ただいま澤田議員から答弁いただきありがとうございました。やはり冒頭に書いてあることは本当に大切なことやと思えます。それは、中身をこ

れからつくって、それに合わせてやっていこうと、議会運営を。その中身がまだ固まらないうちにこういうなんをしようとかというので、結局その活動の中身を検証したときに必要数はどれだけやという答えが出てくると思うんです。だから、私は今の段階は基本条例、それをきちっと固めてからそれに合わせた形の人数を、2人減っても3人減ってもいいと思いますので、出すべきやと思いますので質問しました。

○議長（森野 隆君） ほか、質疑のある方はいらっしゃいませんか。13番、辰己保君。

○13番（辰己 保君） 13番、辰己。

確かに大事な指摘がされています。今、外川議員も言われたように、議会改革条例を検証していくということで、実践的に踏み出そうと。既に実践をしている部分もあります。それで聞きたいのは、当然議会改革に我々今、既に取り組んでいるわけで、そうした行動に反映する意味からも質問をしておきたいと思います。

住民の信頼を得るとのことなんですが、その住民の信頼を得るために、先ほど、まずは削減が改革だと言われ、定数削減が改革なんだと言われました。そこで、改めて住民自治を強化するために、どのような議会改革をすればいいのか、どういうお考えをお持ちなのかお答えいただきたいと思うんです。

もう1点、住民自治の強化をしていくために議員力をどのように向上していけばいいのか、御指南を頂きたいと思います。

それで、この3年間あまりを見ていると、議会や議員各位の活動、本当に私自身は改選前と風情が変わってきているという捉え方をしているんです。何かというと、一般質問を出される議員さんが毎議会多くなった。そして、時にはもう一般質問出せる立場の人がほぼ全員出しておるという状況になっています。

また、昨年の愛知川警部交番の解体工事では、かなり議会の各議員がいろんな角度から質疑を行い、議会力や議員力が発揮されたというふうに見ているんです。そういうような中で、12人が適正なのかどうかというのが、こうした活動を通して12人の削減が適正だと言われるそうした根拠。要するに、今日までの議会活動、また議員力の発揮、この2点でどのように捉えておられるのかなということをお聞きしたいと思います。

○議長（森野 隆君） 4番、澤田源宏君。

○4番（澤田源宏君） 私、この前、総務産業建設常任委員会で団体と意見交換をし

ました。そういうことが一番、いろんな団体等と話をしまして、そういう意見交換会をこまめにするのが一番だと私は考えております。

そして、議員力の向上とおっしゃられるのは、住民の、地域の区長さんとかと一緒に行政のほうへ行って、要望書のことについていろいろ一緒に要望書を提出するときとかにいろんなことを学べて、それで議員力の向上に私はつながると思っております。

以上です。

○議長（森野 隆君） ほか。13番、辰己 保君。

○13番（辰己 保君） 13番、辰己。

今言われたように、団体さんとの交換を頻繁にすること。そして、議員力の向上というのは、区長さんたち、地域の代表の人たち、地域の要望という意味だと思うんです。それは地域、すなわち一定のブロックといいますか、申し訳ないですが。この愛荘町全体がその地域、地域で議員さんが地域の代表だということと、議員の役割は地域の声を町政に反映するということの裏返しだと思うんです。ということは、議員が14人今現在いる中で、その地域、地域の声を取りあえずは聞ける体制があるということで、12人になればそのブロック、あえてブロックという言葉を使いますが、1人の議員さんが抱えるブロックというものが広がって行って、果たしてその地域連携が行えていけるだろうかということがまず。それは、現在の自治会のありようによつての反映であって、変化してきている。社会変化と伴って、その自治の在り方が変化、変容してきています。そうした中で、そういう町民さんの声が、要望活動ができるだろうかと。難しくなってくるのではないかなというふうに思うんです。

私が今指摘した団体との、議員力を向上するという点で、どこまでが澤田議員が言われたところが、12人に減ることによって吸い上げられるのかということです。団体との交換については、頻繁にといっても、閉会中の議会活動となりますと、委員会活動となると、なかなか頻繁にはし切れないという課題はあります。そういうところで見ると、しかし、積極的に活動することによって議会力は上がっていくと思います。

残念ながら、今、議会改革を進めていこうという途上ですので、それに関わつての答弁を改めてもう一度お伺いをしておきたいというふうに思います。

○議長（森野 隆君） 4番、澤田源宏君。

○4番（澤田源宏君） 私、考えますのは、議員自らが門戸を開き、相談しやすいように、住民の方々から来てもらうようにすれば、全然14人、地域が狭まるというよ

り、今まで以上にもっと相談に来てもらいやすい環境をつくるのが議員力の向上にもつながるし、いろんなことにつながっていくと思います。

この前も島川の副区長さんから相談を受けて出向いたこともありますし、いろんなことでこういうしゃべりやすいようなことをすれば、議会力も上がるし、議員力の向上にもつながるので、12人にしたほうが少数精鋭で私は議員力や議会力も上がっていくと信じております。

以上です。

○議長（森野 隆君） ほかに質疑はありませんか。11番、瀧 すみ江君。

○11番（瀧 すみ江君） 11番、瀧です。

私はこの議員提案が出てから、とても、なぜ出されてきたかというのを、何で定数を削減したいのかなというのはとても不思議で、その理由が分かりません。こういうふうに書かれていますけれども、提案者含め賛成者が6人おられますので、一人一人そのお考えは違うと思われまますので、そういう意味から、お一人お一人その削減したい理由というのを答弁いただきたいと思います。

○議長（森野 隆君） 1番、久保田正利君。

○1番（久保田正利君） 1番目に書いていますので、私は私なりに説明をしたいと思えます。

私も読まずしてサインをしたわけではありません。ここに書かれてあるものに対して賛同させていただいたということです。

議会改革もあります、住民とのやり取りについても、僕はもうそういうやり取りについての方法もタブレットであったりとか、いろいろ変わってきていますので、そういう意味での削減も可能なのかなというふうに思っております。ましてやここに書かれています費用の件に関しましても、僕自体はこの辺についてもやはり賛成の理由の1つでもあります。そのために議員は議員として、議員力を高めていくというところから私は賛成しましたので、賛成理由とさせていただきます。

よろしく申し上げます。

○議長（森野 隆君） 続きまして、順番で、村田 定君。

○6番（村田 定君） 6番、村田です。今回の定数には賛成する立場から意見を申し上げます。

今現在、議会改革委員会検討委員会で、非常にいろんな面でやっていただいている

ことは大変貴重だと思いますし、ぜひ進めていかなければならないし、これは議員の定数とはかけ離れた問題だと私は思っております。その結果、議会報告会がやれる体制になったということは、これ議員力が上がってきたということは、今まさに示していることやというふうに思います。

私たちは町民の代表でありますので、先ほど御質問にもありました、1つの私たちはブロックじゃなくて、愛荘町の代表である愛荘町の議員であるということで、私はその地域、地域に連携をして、やはり自ら地域に入って行って、そして地域の声を聞き、またそういった要望もあると思うんですけども、そういったものは自分の地元だけじゃなくて、やはりその地域全体でやっていくというのが議員のあれだと思いますので、確かに定数減をすれば、行動範囲が広がるんじゃないかというふうなことだと思うんですけども、議員の能力アップ、思い、そういったものをしっかりと持てば、十分に12名で、私は削減しても対応できるものと思っておりますし、より建設的な意見が出てくるように考えております。

以上です。

○議長（森野 隆君） 7番、上田太治君。

○7番（上田太治君） 私も賛成の立場から意見を述べさせていただきます。

今ほどもありましたように、従前の議員は、地区代表に近いような形で選ばれ、活動をされていることが多々あったように思います。世の中が随分と変革しまして、若者も増えました。本来、議員は町全体を見る力、町全体のことを考えるのを第一に、ただ、地域の事柄についてはよく見えますので、当然、地域の事柄についても目を光らせる必要もあると思いますけども。そういう意味合いからは、そのブロックとか地域とかということから一歩前進する意味合いからも、この提案には賛成をいたしました。

以上です。

○議長（森野 隆君） 続きまして、8番、高橋正夫君。

○8番（高橋正夫君） 今、この提案が出ていますけども、私、以前から前回、14人で無投票でした。そのときぐらいから、今後考えるべき問題やなというふうな考えをしております、特にこの澤田君が出したこの説明書の理由も読ませていただいて、なるほどなというふうに思っているんですけど、特に思うのは財政難です。これは議員自らが身を切るような形で、少しでも財政状況を何とかしたいという思いが一番強

い私の理由です。ということで、何とか12人でも十分やっていけるということを他町の例も見ながらですけども、他町もそういうふうに身を切ってやっておられますので、うちも十分やっていけるという思いで賛成をするものです。

○議長（森野 隆君） 5番、村西作雄君。

○5番（村西作雄君） 私もこの定数減については前々から、高橋議員もおっしゃいましたけれども、前回の無投票当選の中で、私は過去4年間どういう活動をしてきたんやろう、そういったものを町民にして審判してほしい。それには票をどれだけ頂けるかということだったと思うんです。それがいみじくも無投票ということで、本当に私の過去4年間は何だったんだろうなというような思いでいたところでございます。

そんな中で、たとえ2人減っても、それは多くのアンテナの中から町にその地域の声を届けるというのは、より一層増していくと思うんです。それともう1点、これも私は特にこの1年の本町の財政状況を見ていくと、本当に財政調整基金を今年も10億以上取り崩さないと予算が組めない。こんな事態になってきている中で、議員自ら、たとえそれが2人の減で年額1,000万に満たない額であっても、それを町に知らしめ、そして町民に知ってもらって、少しでも議員が町の財政の危機的な状況について、議員自らが身を切ってその一助としたいと、そういう思いで賛成をしているものでございます。

○議長（森野 隆君） 12番、竹中秀夫君。

○12番（竹中秀夫君） 12番、竹中です。

もう皆さんが出尽くすほど出していただいたので、私からはこれという言うことは、賛成者の1人として、非常に文面も読ませていただきました。そういう中で、私は個人といたしまして、今日まで議員活動の中で、住民の声は自分が持っていくというような、住民は私やというような心構えで今日まで議員活動で邁進してきたというようなことで、財政もいろいろ言うております。非常に厳しい。もろもろはもう皆さんが十分にしゃべっていただきましたので、賛成者の1人として、14を12にということにつきましては、賛成者の1人として賛同をさせていただいたということがあります。

以上です。

○議長（森野 隆君） 11番、瀧 すみ江君。

○11番（瀧 すみ江君） お一人ずつありがとうございました。それぞれの理由が

ございますと思います。

ほかの話なんですけど、私、一般質問で2025年問題というのを取り上げました。それは団塊の世代が後期高齢者になって、5人に1人が75、後期高齢者になると。そういうことで、とにかく高齢化社会が来ます。そして今、ものすごい電気代も上がってまして、すごい物価高騰です。それで、本当に生活苦があります。そういう大変な人、それで高齢者、障害者の声を吸い上げていく。誰一人取り残さない議会活動を行っていこうとしたら、とても14人でも足りないと思うんです。本当に一人一人の、自分の一人一人の細かいいろんな方の声を聞いていこうとしたら、そういうふうに思うんです。

だから、その町民の方にも言いやすい、声をかけやすい議員さんがいます。普段のお付き合いやいろんなことで。それで、この人なら相談してみよう、この人には言ってみようという方がおられます。ですから、これを14人いてそれぞれの声を聞いておられる。ですから、12人になったら、それが14人分を聞けるかといったら私は無理だと思うんです。ですから、こういうことを考えた上で、これから到来する高齢化社会、そして生活苦、もうそれぞれ本当に聞いておられると思います。ですから、それを町政に反映させるためにはとても足りないと思うんですけど、それについて提案者の澤田議員はどのように考えられますか。

○議長（森野 隆君） 4番、澤田源宏君。

○4番（澤田源宏君） そういう高齢者の方、一人一人意見を聞くということが14人でも足りない。それが20人でも足りないとは思っております。それに対して、高齢者のところに民生委員の方が毎月とか行っておられますよね。その意見を民生委員の方から議員、私ら聞いていますので、それで十分対応はできると私は思っております。

○議長（森野 隆君） 11番、瀧 すみ江君。

○11番（瀧 すみ江君） 先ほどお一人お一人発言していただいたときに、それは財政状況というものもありましたけれども、提案理由の中には、こういうことが書かれております。議員定数というものは、議会が民主主義、地方自治法の根幹をなす重要な機能を果たすものだけに、議員報酬や財政事情だけで考えられるものではありませんというふうに書かれています。しかし、その後段のほうで、財政状況が厳しいということを書いておられましたね。今も、発言もありましたけど、それはお一人お一人

の発言ですので、この提案理由の中には、財政状況が厳しいということが書かれています。そして、2人削減すれば4年間で約3,700万円の財源の捻出ができると述べられていますけれども、前段のこういう文章と、そういうもので図られるものではありませんと書いていますので、財政事情や議員報酬だけで考えられるものではありませんと書いていますので、その後の私が申し上げたこととはどういうふうに整合性を持たれて書かれておられるのかということについて、その整合性について答弁をお願いいたします。

○議長（森野 隆君） 4番、澤田源宏君。

○4番（澤田源宏君） それに対してというか、整合性というか、そういうことだけでは、お金のことだけでは考えられないということと、ただここには事実を書いただけでございます。

○議長（森野 隆君） ほかに質疑はありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（森野 隆君） これで質疑を終わります。

これより討論に入ります。初めに、反対討論はありませんか。13番、辰己 保君。

○13番（辰己 保君） 議員定数の削減提案に対して、反対を行います。

私は、住民との対話を重視して、二元代表制の機能を十分に発揮するというのであれば、議員を増やすことこそ重要ではないかと考えています。澤田議員は、議会の役割として、二元代表制の機能の十分な発揮を求めています。二元代表制の役割及び監視機能は、改選後の年度末の議会、そして昨年度の旧愛知川警部交番解体工事に象徴がされています。

議員定数の削減はどの議会でも行ってきました。愛荘町議会議員は、住民の声を一般質問や議案審議で取り上げておられます。住民の信頼を得ているからではないでしょうか。議員定数削減は、住民の信頼を得ることとは次元が違う論説であると言えます。本町議会は、議会改革条例を制定し、澤田議員はじめ他の6名が求めていることは、議会改革条例に書き込んでいます。その条例の実践が不十分だとするならば、14人の議員が研さんを積むことです。そのため、本町議会は議会報告会、そして委員会活動の活性化に取り組み、住民の信頼を得ることに努めているところです。

この取組により、議会の役割と議員力は向上すると確信します。議員定数の削減を求めることは、議会自らが、批判と役割の否定につながるのではないかと考えます。

また、議員力の向上に背を向けることだと指摘をします。

議員は町民の声を幅広く聞き、町政に反映することです。そのためには、身近に議員の存在は大きいわけです。削減はそうしたことに対して逆行します。特に弱者の声は届きにくくなるだろうし、取り残される町民を増やしていくことにつながるのではないかと考えます。多くの議員による自由な意見交換、すなわち多様な価値観の交換でこそ、議会力と議員の資質の向上の相乗効果が生まれます。2万人の人口の愛荘町議会の定数は14人でいいのではないかとこのことを申し上げて、反対討論といたします。

○議長（森野 隆君） 次に、賛成討論はありますか。6番、村田 定君。

○6番（村田 定君） 6番、村田 定です。

議提第17号 愛荘町議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例に賛成の立場から賛成討論を行います。

現在、定数14名で、愛荘町の2万1,000人の人口の1,500人に1人の割合です。12名に定員を2名削減することにより、1,750人に1人の割合となります。約15%弱増加しますが、町民の代表として議会が機能するか否かは、議員の数ではなく質に左右される面が大きいと考えられます。

現在、町村議会議員の成り手不足、増加する無投票、定数割れが起きています。4年に一度の選挙戦が必ず実施されることが主権者意識涵養の要であるため、選挙戦の機会が度重なって失われることは、地方自治の弱体化を招くこととなります。

議員の役割は極めて重要であり、住民の代表として団体意思決定、政策立案、行政監視チェックの各機能の役割分担を行い、単なる多数決の場ではなく、住民の多様性を反映した議論を通じて団体意思を決定する場であります。

議員の責務は、住民の代表機関である議員の構成員として自己研さんに努め、常に町民全体の利益のために行動しなければならない。町民の思い、地域の課題をしっかり受け止め、建設的な議論、対話をして議員力の向上を図る意味からも、議員定数削減に賛成するものです。

議員各位の御賛同をお願いし、賛成討論といたします。

○議長（森野 隆君） ほかに討論はありますか。11番、瀧 すみ江君。

○11番（瀧 すみ江君） 11番、瀧 すみ江。反対討論を行います。

議提第17号 愛荘町議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例に対し、

反対を表明します。

朗読された提案理由には矛盾する部分があります。第1に、提案者の理由の中に、愛荘町議員の適正規模は、議会活動の中身に照らし、議会の活性化問題と併せて判断されるべきものであると思います。また、議員の資質の問題につきましても、町民さんが議員力のある議員を選挙で選んでいくものでありますという文章があります。では、今の定数14の議会では活性化していないのか。12人になれば活性化するという根拠はどこにあるのか甚だ疑問です。

愛荘町議会はここ数年で議会が活発になり、充実してきました。町長提案に何でも賛成するのではなく、議案の否決、修正動議、町長への問責決議などを行い、議会の意思を前面に出す活動が顕著です。各議員の考えや立場が違っても、発言のない議員は1人もいません。全員が何らかの発言をしていますし、一般質問でも毎議会7から8割の議員が発言しています。この議会活動の充実をさらにレベルアップしていかなければなりません。14人の議員の中で、誰一人として必要でない議員はありません。議員定数の削減は行うべきではありません。

第2として、先ほども質疑の中で申し上げましたが、提案理由の中で、議員定数というものは、議会が民主主義、地方自治法の根幹をなす重要な機能を果たすものだけに、議員報酬や財政事情だけで考えられるものではありませんと述べているにもかかわらず、財政状況が厳しいとか、2人削減すれば4年間で約3,700万円の財源の捻出ができるということを述べています。

議員の仕事は、町民の声を町政に届け、出された議案を町民の立場から判断することです。ですから、町民が気軽に話ができる議員が身近にいてこそ、町民の声を町政に届けることができるのです。14人なら14人分の町民の声を聞くことができますが、12人なら12人分でしかなく、町政に届く町民の声は減ることになります。

最後に、現在14人の議員がそれぞれの立場で議員力を持っているのに12人に減らすことに賛成するということは、議員の役割を否定することになるということを訴えまして、反対討論といたします。

○議長（森野 隆君） ほかに討論はありませんか。5番、村西作雄君。

○5番（村西作雄君） 5番、村西作雄です。

私は、議提第17号 議会議員の定数を定める条例の一部改正に賛成の立場から討論をしたいと思います。特に本町の財政状況について大変厳しく、その中身の中で状

況をお話しした中での説明とさせていただきます。

私は本町の今の危機的な財政状況を鑑み、2名の定数減により、議員自らが身を切る改革により、年間1,000万弱であります。少しでも議員として、町の財政基盤の安定に寄与すべきとの思いから、賛成するものでございます。

御承知のように、本町の過去5年間の財政力指数は、令和元年度の0.609から5年度には0.564と年々落ち込み、経常収支比率も昨年度は95.4%まで落ち込み、年間100億円の予算規模としますと、町長の采配で自由に使えるお金が4億6,000万円しかないこととなります。今、すごく財政が硬直化し、今後の財政運営に黄信号が灯っていると感じています。

また、予算執行に当たり、ある程度自由に使える財政調整基金も5年度はこの基金から2億円を取り崩し、今年度にあっても、この12月までで既に約10億200万円もこの基金から繰り入れ、取り崩さなければ予算が組めない状況となっております。財調基金の12月末残高は、5年末に20億7,787万円あったものが、今や計算的には10億7,500万円と半減です。

この額は決算で数億円はプラスになると思いますが、それにしても基金に頼り切る危機的な財政状況であります。これには、ほぼ単独事業として昨年度から進めてきた警部交番の解体や保健センターの新築を含めた庁舎等リニューアル工事、約8億円が大きくのしかかっていると私は分析しています。

また、今後、お金の要る大きなプロジェクトも目白押しです。7年度から9年度にかけて、ハーティーセンターや図書館の長寿命化のための改修にそれぞれ8億6,300万円、5億4,000万円。さらには、給食センターの厨房機器更新に5億4,000万円などです。長寿命化には、公共施設適正管理推進事業債、いわゆる公的債の起債が発行できますが、それでも半額の7億以上は町費持ち出しになります。また、給食センターの機器更新は全て町の単独事業となると思います。

加えて、今ほど職員定数条例も可決され、24名増が認められました。人件費についても、本年は賞与の0.1月分のアップ、また、新たに人勸による地域手当加算が来年度2%、8年度4%付加されることとなりますと、ベースアップとともに正職員だけでも年間約2,500万円から3,000万円の増、これに会計年度任用職員にも地域手当を支給するとなると、人件費に対して、今までより新たに年間5,000万近くの町負担が増えるのではないかと危惧しています。

そういった意味から、議員定数減で少しでも町の財政に寄与したい、そんな思いでの今回の提案であります。町執行部におかれましても、新年度の予算編成に当たり、本町の現在の財政状況を鑑み、的確な編成をくれぐれもお願いし、私の賛成討論いたします。

○議長（森野 隆君） ほかに討論はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） これで討論を終わります。

これより議提第17号を採決します。本案は原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（森野 隆君） 起立多数です。よって、議提第17号 愛荘町議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例は、原案のとおり可決されました。

◎議提第18号～議提第20号の上程、説明、決定

○議長（森野 隆君） 追加日程第4、議提第18号 総務産業建設常任委員会閉会中の継続調査についてから、追加日程第6、議提第20号 広報常任委員会閉会中の継続調査についてまでを一括議題とします。

各常任委員会委員長より、閉会中も継続調査に付したい旨の申出があります。閉会中の継続調査に付すことに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 異議なしと認めます。よって、議提第18号 総務産業建設常任委員会閉会中の継続調査について、議提第19号 教育民生常任委員会閉会中の継続調査について、議提第20号 広報常任委員会閉会中の継続調査については、閉会中も継続調査に付すことに決定しました。

◎議提第21号の上程、説明、採決

○議長（森野 隆君） 追加日程第7、議提第21議員派遣についてを議題にします。

会議規則第127条の規定により、お手元に配付しました議案のとおり議員を派遣することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 異議なしと認めます。よって、議提第21号 議員派遣については、お手元に配付しました議案のとおり、議員を派遣することに決定しました。

◎閉会の宣告

○議長（森野 隆君） これで本日の日程は全て終了しましたので、会議を閉じます。

◎町長挨拶

○議長（森野 隆君） 町長、閉会挨拶。町長。

○町長（有村国知君） 令和6年12月愛荘町議会定例会の閉会にあたり、御挨拶申し上げます。

今議会に提案させていただきました条例案件5件、指定管理者の指定案件7件、契約議決案件4件、補正予算案件9件の計25件につきまして、御議決いただき、誠にありがとうございました。

本日お認めを頂きました議案第66号の愛荘町避難行動要支援者名簿情報の提供に関する条例の制定につきましては、近年激甚化、多様化、大規模化している災害に対する予防、防災について強化を図るため、避難行動要支援者名簿を消防団や自主防災組織等の避難支援者に提供することになります。

名簿情報を非難支援者に提供することにより、事前に支援体制を整えることができ、災害発生時に迅速かつ効果的な支援が可能となるものであり、町としましても、早期の運用を図ってまいります。

また、本日追加提出いたしました議案第80号の湖東三山館あいしょうの指定管理者の指定及び議案第81号の中山道愛知川宿街道交流館の指定管理者の指定につきましては、一般社団法人愛荘町観光協会様を指定管理者とすることでお認めいただきました。ありがとうございました。

町観光協会様には、現在、街道交流館の飲食提供施設において66カフェを運営いただいております。湖東三山館あいしょうにつきましては、開館当初から運営をされていた実績があります。地域の観光資源を活用した新たな企画やイベントの実施、地域住民との連携により、今後ますます地域全体の観光振興に寄与していただけるものと期待しております。町としましても、特にこの両館につきましては、東西の地域情報及び広域観光情報の発信拠点施設でもあることから、町観光協会様とのさらなる連携を

図ってまいりたいと存じます。

今後とも議員の皆様をはじめ、住民の皆様には、町の発展に向けて一層のお力添えをお願いしますとともに、皆様の御健康と御多幸、そしてますますの御活躍を心から御祈念申し上げ、閉会にあたっての御挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

○議長(森野 隆君) これをもって、令和6年12月愛荘町議会定例会を閉じます。
大変御苦勞さまでした。

閉会 午後0時10分

上記会議の次第は事務局長 森 まゆみの記載したもので、その内容の正確であることを証するためここに署名する。

令和 年 月 日 議 会 議 長

令和 年 月 日 議 会 議 員 4 番

令和 年 月 日 議 会 議 員 5 番